



御成門小・中学校

小中一貫教育校への 移行について

令和5年9月21日・22日
港区教育委員会事務局学校教育部

1

背景

港区では、すべての区立幼稚園、小・中学校で幼・小中
一貫教育を推進



中でも、小・中学校の施設が一体または併設する学校に
ついて、学校間の連携・協力を推進することによる教育
効果を見込み、小中一貫教育校へ移行することを検討

順次開校



<平成22年4月>

お台場学園

<平成27年4月>

白金の丘学園

<令和5年4月>

赤坂学園

2

御成門小・中学校における検討

赤坂学園の開校をもって施設一体型小・中学校の小中一貫教育校への移行完了



残る区立学校の中で唯一、学校施設が併設し、かつ通学区域が一致する御成門小・中学校の小中一貫教育校への移行検討を開始

検討組織：御成門アカデミー小中一貫教育校検討委員会

- ・ 保護者や地域の代表者、学校長、教育委員会事務局職員等で構成
- ・ 令和5年4月～6月にかけて3回開催
- ・ 移行の目的、移行後の活動イメージ、懸念事項への対応等を共有

3

小中一貫教育校への移行の方向性

目的

小・中学校の連携・協力のこれまで以上の推進

- ・ 教員の相互理解の深化による指導力向上
- ・ 異年齢交流による人間性や社会性の育成



御成門小・中学校の**教育の質の向上**と**子どもたちの健やかな成長**につなげます

移行時期 令和6年4月から移行

名称 港区立小中一貫教育校 御成門学園

4

よくあるご質問

Q 小中一貫教育校のメリットは何ですか？

A 教育の質の向上、中1ギャップの防止、豊かな人間性や社会性、協調性の育成等の効果を見込みます。

教員の連携が図られることで、小・中学校双方でのつまづきやすい学習内容を共有し、学習指導の改善につなげたり、児童生徒の異年齢交流の機会を増やすことで、年少者への「思いやり」や年長者への「あこがれ」の気持ちが養われたりするなど、心の教育の面での教育効果を高めます。

※7月19日付で保護者の皆さまに配布した通知の裏面「小中一貫教育校の効果と活動イメージ」の資料もご参照ください。

Q 小中一貫教育校のデメリットはありますか？

A 大きなデメリットはないと考えています。

一般的に、人間関係が固定化してしまうことや小学校6年生の活躍の場が限られてしまうことなどが挙げられますが、運営を工夫する中で対応していきます。

5

よくあるご質問

Q 学校の名前が変わるのですか？

A 「港区立小中一貫教育校御成門学園 御成門小学校」、「港区立小中一貫教育校御成門学園 御成門中学校」となります。

「小中一貫教育校御成門学園」の名称は、学校運営の一体性を明示するとともに、教職員や児童生徒の一体感を醸成することを目的として、港区が独自に付けている通称名です。保護者の方が「港区立御成門小学校」「港区立御成門中学校」と表記しても誤りではありません。

Q 職員の人数や体制は変わるのですか？

A 校長1人・副校長3人の体制になり、教員が兼務となります。

職員の総数は変わりませんが、校長が小・中学校で併任の1人となり、代わりに副校長が小・中学校で3人の配置となります。また、小・中学校の教員を兼務扱いとします。

6

よくあるご質問

Q なぜ校長を1人とするのですか？

A 学校の経営方針や指揮命令を一本化することで、連携・交流の充実や意思決定の迅速化を図ります。

一貫した教育方針、経営計画の下で運営を行うことで、小・中学校間の連携・交流を推進します。校長の指揮命令が一本化することで、校長間の調整の必要なく、良い取組をすぐにできるようになると考えています。

Q 校長が1人の体制で、学校運営に支障はないのですか？

A 校長・副校長が連携することで、支障がないように運営します。

同規模以上の他の学校でも校長1人の体制が取られていますが、大きな課題は生じていません。また、副校長も学校における管理職であり、これまでも校長不在の際などには、副校長を中心に危機管理対応等に当たっています。副校長3人の役割分担や校長との連絡体制等をあらかじめしっかりと定めることで、緊急時等にも迅速に対応ができるよう取り組みます。

7

よくあるご質問

Q 学校行事が小・中学校で合同になるのですか？

A 現時点で大きな変更は予定しておりません。

人数規模的に合同実施が難しい行事等もあることから、現時点で、多くの行事を合同化することなどは予定しておりませんが、教育効果や運営の効率性等を考慮し、今後検討していきます。

Q 登校時間や時程、登校日等の変更はありますか？

A 現時点で大きな変更は予定しておりません。

大きな変更は予定していませんが、授業等での連携を図りやすくするために、1・3・5校時の開始時間を小・中学校で揃えるなど、若干の時間変更を行うことは考えられます。

8

よくあるご質問

Q 小学校にも標準服（制服）が導入されるのですか？

A 小学校に標準服を導入する予定はありません。

小学生は成長が早く買い替えが必要となるなど、費用負担も生じることから、現時点で、小中一貫教育校への移行に伴い、小学校にも標準服を導入するという予定はありません。

Q 小・中学校の校舎等を共用するようになるのですか？

A 基本は小・中学校それぞれ現校舎での生活となります。

現状、小・中学校の普通教室は、それぞれの校舎のままなので、一貫教育校への移行後も、小学生と中学生が双方の校舎を自由に使用できるようにすることは考えておりません。今後、小学生が中学校校舎の特別教室を使用したり、交流授業の際に体育館や校庭を共用したりすることなどが考えられますが、集団での移動や使用する際のルールを設けるなど、安全面も踏まえ検討していきます。

9

よくあるご質問

Q 教員の負担が増えるのではないですか？

A 業務の効率化に取り組むことで、教員の業務負担が増えないように取り組めます。

移行する前後の期間については、小・中学校の教員間で調整・整理が必要な事項等が生じますが、校務分掌や行事の運営方法等を直ちに大きく変更するのではなく、現在の運営方法や先行する小中一貫教育校の事例を生かしながら、教員の負担が増加しないよう取組を進めます。また、事務作業の精選・統合や人的資源の再配置等により業務の効率化を図れるよう調整します。

Q 小・中学校それぞれの歴史はリセットされてしまうのですか？

A 御成門小学校、御成門中学校の歴史は途切れません。

「港区立御成門小学校」、「港区立御成門中学校」であることに変更はなく、歴史（〇〇周年）は継続されるとともに、各学校の校章や校歌等についても変更する必要はありません。

10

よくあるご質問

Q 御成門小学校からは、必ず御成門中学校に行かなくてはならないのですか？

A 私立中学校等、他の中学校への進学も可能です。
小中一貫教育校になった後も、小学校から中学校への進学に関わる扱いに変更はありません。

Q 御成門小学校以外の小学校からは、御成門中学校に入れなくなるのですか？

A 学校選択希望制等により、御成門小学校以外の小学校から御成門中学校へ進学することも可能です。
小中一貫教育校になった後も、小学校から中学校への進学に関わる扱いに変更はありません。

よくあるご質問

Q 御成門小学校以外の小学校から御成門中学校に進学する生徒が戸惑うことはないですか？

A 御成門中学校へ入学した生徒が中学校生活に円滑に慣れることができるよう配慮していきます。
小中一貫教育校においても、他の学校と授業の進捗等に大きな違いはありませんので、他の小学校から進学してきた生徒にも教育内容に大きな差が生じるものではありません。中学校からの入学者が多い御成門中学校の特徴を考慮し、中学校生活に円滑に慣れることができるよう配慮していきます。

Q 小学生も中学校の部活動に参加できるようになるのですか？

A 移行後の状況を見て、参加できるようにする部活動を検討します。
小中一貫教育校への移行後、中学校部活動の人数や活動スペース、指導体制等を踏まえて小学生が参加できる部活動を検討していきます。